



鶏 けいめい 鳴

2008年2月10日(第10号)

イエスの言葉

「真理はあなたたちを自由にする」
聖書(ヨハネ福音書8章32節)

牧師 河合裕志

上記の言葉、聞いたことがあるだろうか。どこかで見かけたな、という人があるかも知れない。前に永田町の国立国会図書館に行ったら本の貸出しの上の所にこの言葉が元のギリシャ語で掲げられ「真理がわれらを自由にする」と書かれていた。「あなたたちを」が「われらを」にかえられているがいずれにせよこの言葉は図書館にふさわしいと考えたのだろう。皆さん、本を沢山読んで真理を知って自由になって下さいと。

ところでこの言葉をイエスはどんなつもりで口にしたのか。イエスが総督ピラトから尋問された時、「わたしは真理について証しするために生まれ、そのためにこの世に来た」と言った。これに対しピラトは「真理とは何か」と問いかけたがこれは私達としても知りたいところ。

普通真理と言うと「本当のこと、真の道理、いかなる場合にも通用する妥当な知識や認識」を言うが今イエスの言う真理はもっと人格的なもの、あたたかなものであろう。それは端的に言って「父なる神」のことであり、「イエス」のことであり「聖霊」のことだ。この三者とその働きの全体を真理、真なるものと言って差し支えない。

父なる神は天地・人間の創造者、み子イエスを世に遣わした。イエスは人間の

全ての罪を背負って十字架につき罪の赦しと永遠の命をもたらした。聖霊は復活したイエスの霊としてイエスが誰であるかを示し、人間に愛の実を結ばせる。以上の真理を証しするためにイエスはこの世に来た。

次にこのような真理を知って得られる「自由」とは何か。普通自由と言うと「他からの束縛や支配を受けない状態」を言う。今日憲法はこれまでの反省を踏まえ信教の自由や言論の自由等を保証している。結構なことだ。

ところでイエスの言う自由とは何よりも「罪からの自由」だ。「罪を犯す者はだれでも罪の奴隷である」とイエスは言った。この状態からの解放である。罪とは根本的には神への不従順である。その結果様々な罪悪が人間界を覆っている。新年に入っても偽装問題が跡を絶たない。この状態からの自由は先の真理を知る他にはない。父なる神の愛、イエスの十字架の恵み、聖霊の働きを知りこれに与ることにより私達は神への従順・礼拝賛美に生きる者とされ、隣人への愛をもって生きる者と変えられる。この真理、この自由を知ってほしいと願う。それは他ならぬイエスの願い。

集会案内

主日礼拝：毎日曜日 午前10時15分

こどもの教会：毎日曜日 午前9時

祈祷会：第4日曜日 礼拝後

婦人会・壮年会：第2日曜日 礼拝後

聖書を学ぶ集い：第4水曜日 午前10時

オリーブの会：第3月曜日 午前10時